

比奈知ダムは昭和48年から調査に入り、26年かけて、平成11年に完成しました。

調査当時から協力いただいた方は、65歳を超えておられる方が多いと思います。9月19日は敬老の日、ダム建設に協力頂いた皆様に、この機会に改めて感謝のメッセージをお伝えします。

皆様には比奈知ダム建設時代から様々な形で、ご協力頂きまして感謝致しております。

比奈知ダムも完成してから12年が経りました。お陰様で、これまでに5回の洪水調節を実施し、氾濫被害の軽減にその効果を上げています。

今年も7月に台風6号、9月に12号が接近し、大雨となりました。特に、台風12号は8月31日から5日間に渡り、雨が降り、総雨量で840mmと管理開始以来最高記録を観測しました。

この大雨でダムでは、最大で毎秒270m³もの洪水カット（調節）を行い、ダム湖の水位も上昇し、これも過去最大となる洪水貯留を行いました。

こうして青蓮寺ダムと室生ダムとともに連携して調節した結果、氾濫常襲地帯の堤防を守り、街を洪水から救うことが出来ました。もし、比奈知ダムが無かったら、大変なことになっていたと思われると思います。改めて、皆さんにお礼と感謝をしたいと思います。

さて、皆さんもお気づきでしょうが、最近の天気は、季節はずれで暑かったり寒かったり、大雨が降ったり、全く降らなかったり、と極端な現象が多くなって来ています。

東日本大震災では、想定外の大津波が押し寄せ、想像を絶する被害をさまざま見せつけられました。今回の台風12号は、もともと大雨に慣れている地域において、豪雨災害が起こり、まだ災害復旧の見通しも立っていないと聞きます。ただ、伊勢湾台風などの災害時の経験を語り継いでいること、隣人や地区との付き合いや連帯、訓練ができている所ほど、被害が少ないこともわかりました。

人は科学技術に溺れることなく、自然に畏敬の念を持ち、避難などの自衛の対処を怠らないこと。そして、社会に貢献できるよう1人1人が協力し合って、常に謙虚に向上心を持って生きていくことが必要なんだと感じた次第です。

比奈知ダムが、さらに洪水の防御として役に立つよう、努力し、皆さんの生活や暮らしに安全・安心を与えられるよう職員一同がんばっていきますので、皆様におかれましても、これからも元気に、お過ごし頂き、ご助言、ご協力をこれからもよろしくお願い致します。